

算 数 科

算数科で求める子どもの姿

数量や図形に自ら働きかけ、数学的に感じ考えながら、友だちと共によりよい数理を創り上げ、自分の見方や考え方を広げ深めようとする子ども

「数量や図形に自ら働きかけ、数学的に感じ考える」とは

目の前の数量や図形に問いをもって計算や操作をする中で、数量や図形の面白さや美しさ、不思議さを感じ、数学的な内容や方法を考えること

「友だちと共によりよい数理を創り上げる」とは

友だちとのかかわりの中で、友だちの見方や考え方を共感的に受け入れたり、時には批判的に受け止めたりして、その根拠を明らかにしようと進んで試しながら、よりよい数理(簡潔、明瞭、統合、発展、一般化、有用性、美しさ)に迫ること



育みたい資質や能力

求め続ける力

これまでの見方や考え方を生かし、論理的に考えたり表現したりして、よりよい数理に迫ろうとする力

共に学ぶ力

自分と友だちの見方や考え方を関連付けながら、共によりよい数理を創り上げる力

見つめる力

これまでに創り上げてきた数理を振り返り、自分自身の見方や考え方のよさに気付く力



算数科で大切にしていきたいこと

(1) これまでの見方や考え方を生かすこと

- 問いを引き出したり、子ども同士のかかわり合いを生み出したりしながら、よりよい数理を創り上げるために、これまでの見方や考え方を生かして、教師が働きかけること



(2) 一単位時間や単位の中でのつながりを意識すること

- 多様な見方や考え方を見取るタイミングや働きかけを考えて、教師の見取りを確かにし、次の学びに生かすこと